



松梅タイムズ

学校教育目標 ふるさと松梅を担う心身共に調和のとれた子どもの育成

令和6年6月12日（水）発行
第5号
文責 校長 蒔谷 健

令和6年度佐賀市コミュニティスクール認定

人の心の温かみ、長い間 1 つのことを続ける大変さ 全校朝会の校長の話から

6月4日（火）の全校朝会で埼玉県草加市で58年もの間地域の方に親しまれ、この度、惜しまれながら閉店された精肉店の店主とその奥様の話をしました。お二人でこのお店を長年切り盛りされてきたそうですが、たまたまニュースを見ていて、このご夫婦の話に感動しましたので、児童生徒に朝会で紹介しました。このお店は精肉店ではありますが、コロッケやメンチカツなど揚げたてのものを安価で地域の方に提供し続けてこられました。なんとコロッケは長年の間、1個30円で販売されてきたそうです。まさに草加市のソウルフードなのでしょう。日によっては、行列ができるほどの人気店です。このお店を利用されてきた地域の方へのインタビューもありましたが、「閉店は悲しい」、「一言では言い表せない」、「本当にありがとう」、「感謝」、「学校帰りに買って食べながら帰った。いい思い出」、「長い間お疲れさまでした」と店主とその奥様への感謝の言葉が並べられていました。閉店日には常連客の皆さんが、その労をねぎらいにお店に大勢来られたそうです。ただ安いとか、ただ長く店を続けただけならば、閉店を惜しむ声はここまでは大きくはないのかもしれませんが、しかし、このご夫婦のお客様（地域の方々）への温かい声掛けや振る舞いが、常連客の皆さんにはきっと、この上なく、温かく、優しく、癒されるものだったのでしょう。後継者の問題やご自身たちの体力の問題など、閉店しなければならなかった理由はいくつかあったようですが、閉店に際し、ここまで惜しまれるというのには、ご本人たちの人柄がよく表れていると思います。奥様も閉店間際のインタビューで、「地域の人に愛されて、本当に幸せです。日本中探しても、私たちのような幸せ者はいないでしょう。」と語っておられました。ご夫婦や地域の方の心の温かみ、58年間、地域の方に安くお惣菜を提供するという1つのことを続けてこられた偉業に、まさに「人として美しい」と感じられるご夫婦でした。動画サイトで「30円コロッケ 閉店」と検索するといくつかの動画が見られます。保護者の方もお時間があればご覧になってください。

芋の苗植えを行いました

5月23日（木）に松梅保育所の園児たちと小学部1、2年生が歩道橋下の地域の方にお借りしている畑で芋の苗植えを行いました。保育所の園児とは体育祭でも交流をしています。また、私は保育所の卒園式、入園式にも参加させていただいております。

慣れない手つきではありましたが、しっかりと苗を植えることができましたようです。大きなサツマイモができるといいですね。収穫が楽しみです。



教育交流訪問団帰国報告会

5月25日（土）にバルーンミュージアムにて、グレンズフォールズ市教育交流訪問団の帰国報告会がありました。年度末の春休みに、中学部2年のTさんが佐賀市の訪問団の一員としてアメリカのグレンズフォールズ市を訪問しています。この訪問では17名の中高生が現地のホストファミリー宅に分かれてホームステイをしています。私は報告会招かれ、中高生たちのアメリカでの体験談や学んだことなどを興味深く聞くことができました。（右の写真は発表を行っているTさんです。）現地では授業中もジュースを飲んだり、お菓子を食べたり、先生と友達のように気さくに話したりできるようで中高生の目には奇異に映ったようです。言葉も文化も違う中、大変だったと思いますが、異国で同年代のアメリカの学生たち、ホストファミリーと過ごし貴重な経験を積めたことは、大きなプラスとなることでしょう。



< Tさんの報告（概要） >

- ・日本では150円の水がアメリカでは230円、物価の違いを知った。

- ・ニューヨークは街中のゴミが多かった。地下鉄の線路内に大きなネズミがいた。
- ・はじめはコミュニケーションが取れるか心配だったがとてもやさしい人が多くて英語があまり話せなくても翻訳機を使って声をかけてくれてとてもうれしかった。
- ・英語が話せなくても笑顔があればコミュニケーションに繋がる。思い出に残る貴重な体験をさせてもらった。

梅の実ちぎりを行いました。



今年は梅の果実の数が少ないということでしたが、31日（金）に小学部1、2年生、中学部1年生が校内及び通天寺で梅ちぎりをしました。ご指導いただいたU様、O様、Y様をはじめ地域の方々、T寺のご住職様、ご指導、ご協力ありがとうございました。中学部1年生は梅の果実を加工して、梅干しや紅梅漬けしそジュース、梅ふりかけ等をつくるようにしています。昨年度いただいたものも、とてもおいしかったです。

小学部 ほかほかの木 みんなの温かい気持ちがいっぱい実っています。



「〇〇さん いっしょにあそんでくれてありがとう」「〇〇先生 いつも楽しい本をおしえてくれてありがとう」「〇〇さん またドッジボールしようね」「〇〇さん いつもヤッホーをしてくれてありがとう」小学部の玄関には、ほかほかの木にお友達や先生に対する感謝の気持ちや心がホッとするようなメッセージを木の実に例えたカードに児童が書いて貼り付けています。立ち止まって読んでみると、松梅の子どもたちの優しさに触れることができ、本当に温かい気持ちになります。話しかけてくれる、一緒に遊んでくれる、落とした物を拾ってくれる、面白い話をしてくれる。大人から見るとこれらの行為はさほどのことでもないように思えます。しかし、児童にとっては、この何気ないふれあいが、一体感やつながり、安心を感じられるとても大切なスキンシップなのだと思います。大人の世界は世知辛い世の中ではありますが、保護者の皆様もご来校の際は、立ち止まって読んでみてください。心が洗われること間違いありません。

新採の先生 頑張っています！

新規採用の4年生担任のM先生の特別活動の研究授業が6日（木）に行われました。緊張していたと思いますが、養護教諭のN先生とのチームティーチングで、単元名「歯と口の健康について」の授業を行いました。元気で分かりやすい授業を展開していました。児童も先生の問いかけに元気に答えるとともに、意欲的に活動していました。若いというのはそれだけで児童にとっては親近感が増します。これは大きなアドバンテージです。この若さを前面に押し出して、M先生には今後もバリバリと頑張ってもらいたいと思います。



私も33年前の自分の23歳の新採の頃を思い出しました。当時「自分だけで授業をすすめるな。生徒がついてきていない。」とか「黒板の字が下手すぎて、生徒が読めない。丁寧に書きなさい。」など指導の先生によく叱られました。「当時の諸先輩方にこのように厳しく指導していただいたから、今の自分がある」と、日々痛感し、かつて指導していただいた先輩方に感謝しております。

授業参観、親子レク、受け渡し訓練へのご参加、ご協力ありがとうございました。